



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツア会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部 元会長

本日の例会 5月19日 第655回例会

ブッフスタイル例会で卓話をございません。

先週報告 5月12日 第654回例会

◎会長報告

- ①御自宅でご療養中の佐藤定宏会員は再入院されました。
- ②石東嘉男会員は厚生中央病院に入院され、先日小杉幹事がお見舞いに行き参りました。来週にもご退院とのこと。

◎青少年交換委員会報告（石坂カウンセラー）

本日は例会にマディさんが出席しております。マディさんに上達した日本語でご挨拶していただきます。（マディさんのスピーチがありました）

◎社会奉仕委員会報告（荒木委員長）

先日ご案内の風の子会「障害者は外に出よう」運動のボランティア募集に、現在4名の会員より応募がありました。障害者1名に対しボランティア3名が必要なため、6月4日（日）の一日を障害者の役に立つボランティア活動で汗をかきたいと考えておられる会員の皆様、是非ご参加をお願いします。

◎慶事披露 誕生祝い／

宮武 保義君（5月1日）、小原 健君（5月7日）

◎出席報告 会員72名／出席50名・欠席22名（出席規定免除者7名）

ビジター1名、ゲスト・マディさん（来日青少年交換学生）
4月平均出席83.85%



5月12日／14件 33,000円
99～2000年度累計 1,736,046円
多額の御寄付を有難うございました。

新保 國彦／岩上さん入会おめでとうございます。青野 信次／岩上さん入会おめでとうございます。皆様よろしくお願ひします。立林 英昭／本日の卓話よろしくお願ひいたします。入沢 頼二／立林さんの卓話楽しみです。岩上さんようこそ入会されました。山下 忠治／立林さん本日の卓話楽しみにしております。西澤 正雄／立林さん今日は卓話を有難うございます。楽しみにしています。田中 武／アメリカの歯科医院でのコンピューター事情を見てきました。大村 富俊／iモード用携帯電話を家庭用に買いました。子供からメールがとどくようになり、楽しんでいます。圓谷 正和／次女の和久子（わくこ）が5月7日に無事に7才の誕生日を迎えました。親としてはうれしい限りです。開発 英基／トキニ羽生まれました。小原 健／行方不明の名札が発見されました。本嶋 公民／パッチを忘れました。Golden WeekはNYでした。もう真夏でした。田村 廣治／出席率が悪いので。谷村 義雄／来週の例会日には敦煌にいる予定です。本日はニコニコ担当です。ありがとう存じました。（順不同、敬称略）

新会員のご紹介（2000年5月12日ご入会）



イワ カミ ヨシ アキ
岩 上 義 明 君

生年月日 1952年7月9日（47歳）
職業分類 貸ビル
事業所名 キャピタル開発株式会社
役 職 代表取締役

所在地 〒107-0052

港区赤坂1-7-19

TEL 3586-1235 FAX 3582-9086

住 所 〒108-0071

港区白金台5-5-11

TEL 3473-8615 FAX 3423-3991

推薦者 新保 國彦君、青野 信次君

5月本年度・次年度合同理事会議事録

日 時 5月12日（金）例会後 13:40～15:00
場 所 東京全日空ホテル 1F 朱鷺
出席者 渡部、山下（本年度・次年度）西澤、荒木、佐々木、吉岡、大村、川鍋、小杉（眞）（以上本年度）加藤、相澤、大日方、四分一、新保、横山、村山、梶内（以上次年度）

決 議 事 項

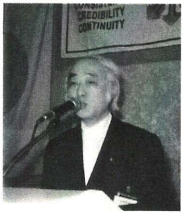
1. 国際大会（プエノスアイレス）投票代議員の件
投票代議員カードに会長、幹事のサインをして無記名でガバナー事務所へ提出することを承認。
2. 第6回・新年度1回クラブ協議会（6/16）を次の通り承認。
テーマ「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」とし、時間割りは、本年度40分、次年度60分とする。尚、本年度各委員長には「活動報告書」を6月9日までに提出して頂く。

報 告 事 項

1. 会長報告／東京レインボー RC 創立総会（4/24）出席報告
2. 幹事報告／カウンセラー指名の件
尾関武男君：河原勢自君、岩上義明君：関 征春君
3. 会計法告（4月末計算表に基づき）
4. 親睦活動委員会報告
新会員歓迎会・食べ歩きの会（6/6）開催。
5. 国際奉仕委員会報告
①R財団同額補助金について、次年度と合同で検討。
②R財団奨学生・渡辺美紀さん受入大学が Johns Hopkins 大学（米国）に決定、6/28 渡米予定。

[次年度]

1. 2000～2001年度委員会メンバー構成（案）の件
2. 2000～2001年度行事計画（案）の件



◎卓話「転換期の世界」(其ノ2)

機会が人を見捨てるよりも、
人が機会を見捨てる方が多い—フランスの諺—

(株)社会工学研究所 代表取締役
当クラブ会員 立林 英昭

昨今みられる閉塞感の根底にある人口のダイナミズムについて考え、明日の社会と、未来を考える一助としたい。

このような観点から、「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(経済企画庁委託・'74、社工研)の調査結果とその後の研究結果からいくつかの知見をご紹介します。

- 江戸時代後期に始まった近代日本の人口増加は1830年代の天保時代、3500万人位からスタートし、その後約200年間続いた人口増加社会が終わり、人口減少社会が到来した。1980年代まで80～100万人/年 増えていた人口が、90年代に入ってから減り始め、今や30万人/年 を切っている。
- 2004年の1億2千7百万がピークで21世紀の終わりに5千万人位になる。
- 昭和に入ると、人口は7千2百万人までに到達した。日本列島に欧米型農産技術を入れて食糧自給できる最大値である。
- 戦後の日本は資源エネルギーを外に依存する「加工貿易国家」という体制によって7200万人の上限を現在の1億2700万人の人口まで可能にした。
- 然しながら、2005年頃には死亡数が出生数を追い抜き、少産・多死化社会、つまり人口は下り坂(人口減少社会)となり、医療水準や栄養水準からみても大きな壁に突き当たっている。
- わが国の人口は過去4回減少した経験があり、5回目の減少社会を迎える。
- すなわち、①第1波(旧石器文明)②第2波(新石器文明)③第3波(初期稲作文明)④第4波(後期稲作文明)⑤第5波(工業文明)であり、それぞれの波動の後半はいずれも人口が減少している。
- さて、人口の減少社会とは、どんな社会であつたのだろうか。一言で言えば、精神文化の成熟社会である。広義の「情報化」を情報の大衆化、システム化、装飾化、文芸化と促えるなら、人口の減少期はいずれも情報化社会の傾向がみられる。
すなわち、石器時代における単純型石器から系統的細石器へ(第1波)。機能一点張りの土器から装飾的土器(火炎土器)へ(第2波)。農業文明期における女流文学(源氏物語、枕草子など)や古今・新古今和歌集などの詩歌(第3波)。浮世絵や洒落本などの出版、俳諧、川柳、狂歌などの文化、藩校、寺子屋、貸本屋などによる教育の大衆化といった情報化の進展が社会に浸透した時期である(第4波)。現在は情報文明社会(第5波)。
- 人口減少社会は、また消費社会といえる。消費社会では「消費が生産に優先する社会」とするなら、「生産社会」は新技術の導入で生産力が增大している社会であり、反対に「消費社会」は生産力が過剰に拡大し需要を追い越した時や需要が飽和し、供給過剰になった場合である。
- それでは人口減少社会へどのように対応していけばよいか。成長・拡大型社会に訣別し、飽和・凝縮型社会へ移行するいわば浪費なき成長が求められる。
- 21世紀における人口を趨勢のまま放置し、6000万人体制でいくか、何らかのテコ入れをして増加させるか。
- 2020年代パニック(世界人口80億)回避への対応として、食糧自給体制、資源・エネルギー対策等の国家目標の立案が必要不可欠である。

●ロータリー財団部会 次期国際奉仕委員 佐々木 忠行
財団部会は次期熊本地区財団委員長が司会、パストガバナーで次期カウンセラーの矢野洋四朗をカウンセラーに、財団関係の各委員長7氏がサブリーダーとなり、①次期地区財団活動方針②財団増進情報について③補助金情報は顔の見える援助④財団プログラムとインターネット⑤グループ研修交換の実施にむけて⑥ポリオプラスはまだ終わっていない⑦学友とは、以上7項目にわたる熱心な討議を行い、その内容は次期地区GSE委員長の梅根敏志から報告された。

●米山奨学会 次期国際奉仕副委員長 後藤 信夫
近藤米山奨学会常務理事、盛岡次期米山奨学委員長、竹腰次期ガバナー補佐、亀山次期米山増進委員長、洪次期米山選考委員長、池田次期米山学友委員長の話をそれぞれ聞いた。

米山記念奨学会の99年度財政は赤字となった。ロータリアンの減少から普通寄付の減少、昨今の経済状態から特別寄付の減少と寄付金全体が96年度をピークに減少傾向である。そういう中、事務経費の切詰めも含め支出を抑える努力をしてくれているが、現状特別積立金の取崩しや、奨学生を現在の1,100名から100名減らさざるを得ないかもしれないなど、厳しい状態である。次年度目標としては、普通寄付2,600万円(@500円×5200人)特別寄付7,400万(30万円×247人)の合計1億円を目標としている。

留学生にとって自国に比べるととんでもなく高い物価、そして近年のアジア諸国の経済危機等、勉強したいけれども経済状態がそれを許さない者にとって米山奨学金は本当にありがたい援助となっている。彼等の向上心を満たす為にもロータリアンの協力がどうしても必要となっている。

●新世代部会報告 次期青少年交換委員長 圓谷 正和
「クラブに新世代のプログラムをいかに浸透させ定着させるか」というテーマで、新世代プログラムと地区方針、インターアクト／ローターアクト、青少年交換、新世代学友委員会、日韓親善短期交換、新世代会議について担当サブリーダーからの説明と、用意された80席のうち55席を埋めた出席者から活発なQ&Aがあった。新世代プログラムは今年で27年目だが、予算の割にはプログラム数が増え、種々の問題が生じている。特にロータリーの目玉である青少年交換は、ホストファミリー探しの苦労やホストファミリーの多大な費用負担から、大幅な見直しが必要。インター／ローターアクトは将来のロータリアンを増やす目的からも、もっと活発にすべき。日韓親善短期交換プログラムは新規。新世代会議は次年度で5周年だが、クラブへの浸透率は低い。各発表担当者は詳細な準備をしており、その熱心さに応えるつもりで、何とか最後まで眠らずに頑張った。(了)

次週予告

5月26日 第656回例会

◎第4回クラブセミナー

「ロータリー通解」を書いた

ガイ・ガンディガー

ロータリー情報委員 田辺 賢三君

第2750地区パストガバナー

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉真史

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武